

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月14日

事業所名 児童デイサービスセンターおひさま2 保護者等数(児童数)9家庭 回収数 5家庭 割合 55%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1			・小学生に向けた支援という点では、もう少し専門性を求めたいです。	話し合い活動等を大切にしながら、子どもたちの状況に合わせた支援を今後も行いたいと思います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1			室外・室内に関して整備が不十分なところがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4	1				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5					子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。また行事も大切にしていきたいと思っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3			・0歳児クラスのお世話をしてあげたりするのはとても良かったです。	保育園の園児や戸外遊びを通して地域のひととの交流を図れるように今後も活動に取り入れていきたいと思っています。
保護	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1				個別支援計画や送迎の際に、定期的に話す時間を今後も作っていききたいと思います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1				送迎や振り返りの際に、保護者と話す時間を大切にしていきたいと思っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5				・いつも先輩方から素晴らしい意見を聞かせてもらい、とても有意義です。	父母の会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。今後も先輩保護者との交流の場も継続できるようにしたいと思います。

者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1			・学校で問題が起きた時、先生方に夫婦で話を聞いてもらい、とても助かりました。ありがとうございます。	活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしていきます。よりよい支援に繋がる様、情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1				
	14	個人情報に十分注意しているか	5					契約時に書面を用いて説明を行っています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	4				掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3箇所書いて頂き、緊急連絡ができる状況を確認しています。振り返りや懇談会等を通して、掲示場所の周知ができるようにしたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1				事業所としては隔月で避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	4	1			・めんどくさがるときがある。クッキングや遠足が好きようです。	子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。
	18	事業所の支援に満足しているか	4	1				

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

令和元年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

結果

児童デイサービスセンターおひさま2

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たし活動を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室外・室内に関しては整備が不十分なところがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			行事ごとに振り返りの時間を作っています。また、2ヶ月に1回は見直しができるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年4回児童発達支援と合同での懇談会と年2回の放課後等デイサービス対象の懇談会を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡表や個別支援計画を通して、ニーズに基づく活動ができるように計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後SDQを実施予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			他事業所の取り組みや児童クラブでの取り組みを伺い、活動内容が固定化されないようにしています。子どもたちの利用が不定期の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		基本土曜日だけの開所としている為、年間を通した活動内容を考えています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせて個別対応を行っていますが、個別支援計画の中にまでは記載できません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の打ち合わせ・振り返りの時間を設けています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録や全体記録をとっています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		利用がなく、定期的にモニタリングができていないケースも見受けられる為、改善していきたいです。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		小学校連絡会や幼保小連絡会を通して、情報共有や勉強会の機会を設けています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れの際には行っていますが、現在対象児はいないです。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援事業所と連携を図り、情報共有ができるようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今現在、対象児がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保育園の園児や戸外遊びを通して地域の人との交流を図っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		理事長が子ども子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎や活動終了後の振り返りを通して、話す時間を作っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		年6回懇談会を実施しています。その際、専門職の先生や先輩ママ・パパを招いての勉強会を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会は設立していませんが、懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		おたよりや年間計画、予約表等を通して、周知しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に書面を用いて説明を行っています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		行事の際に、地域の方の協力を得ています。今後も日頃からの関係性を築いていきたいです。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂き、緊急連絡ができる状況を確認しています。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		事業所としては隔月で避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に参加し、研修終了後に職員に伝達を行っています。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時、身体拘束についての同意説明は行っていますが、基本身体拘束は行わないスタイルをとっています。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		外傷記録簿や個人日誌に記録をとっている。朝礼等を通して職員に周知を行い、再発防止に努めています。	